

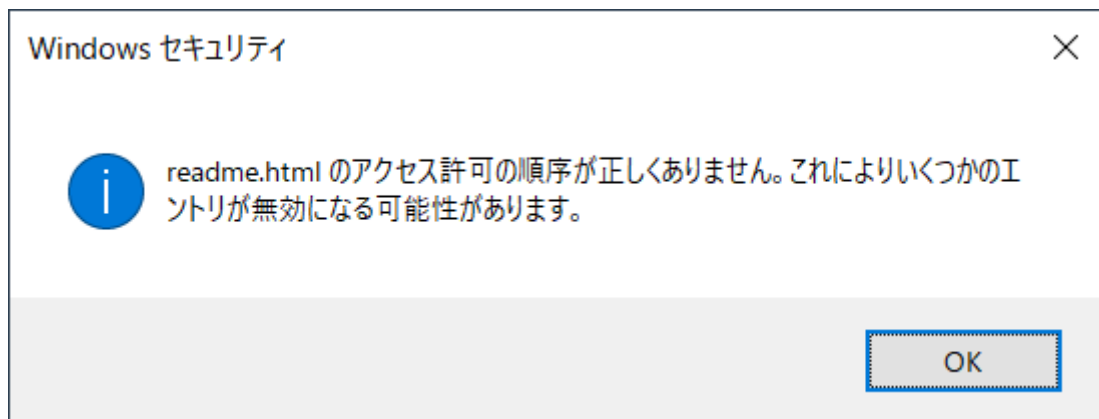
noaclを指定する[rsync, lftp]

参考サイト:

[技術/Windows/Cygwin/NTFSをnoaclでマウントする](#)

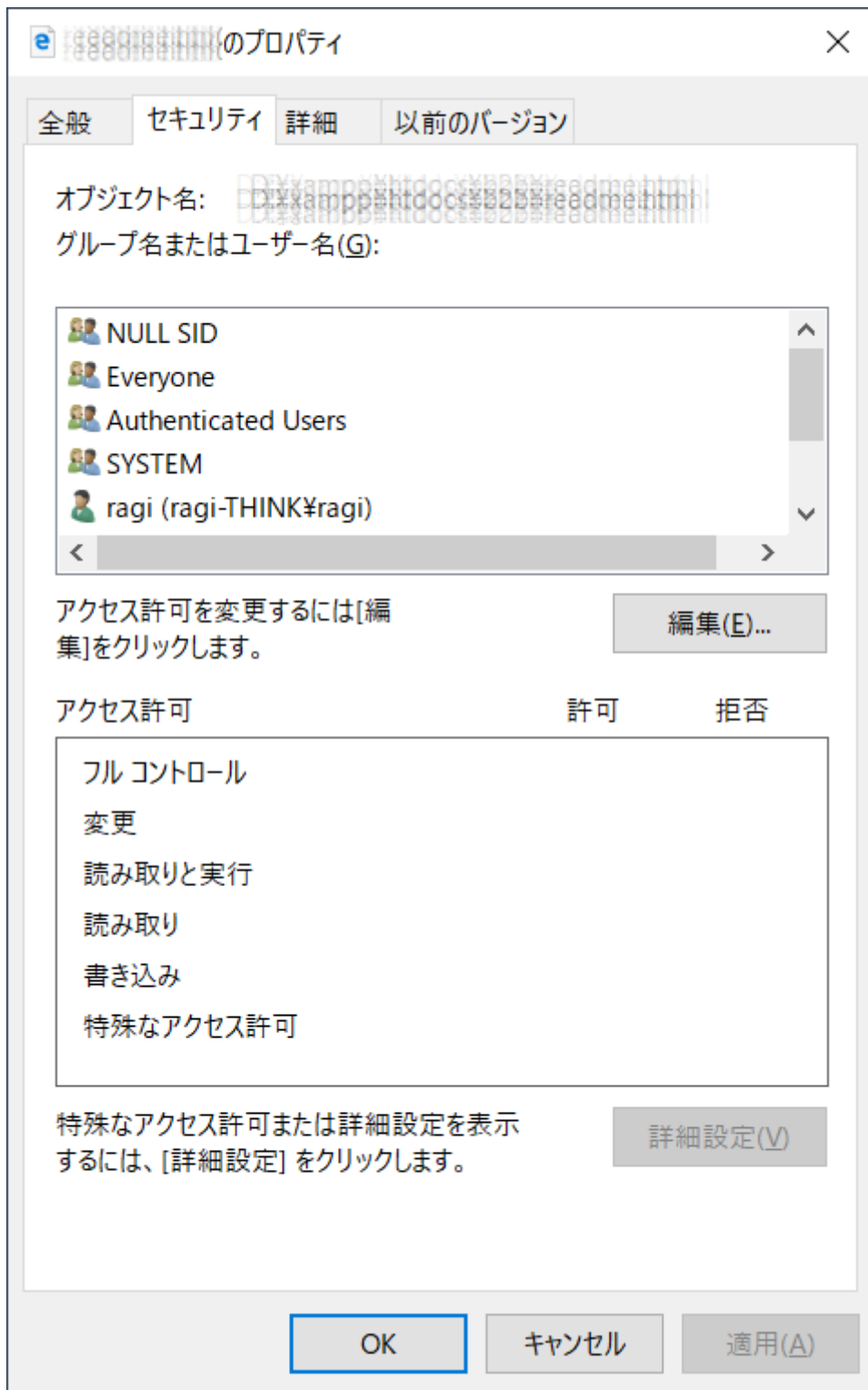
[Cygwinのいくらかましな使い方](#)

rsync も lftp も cygwin の DLL を使って実装されている [cygwin はファイルのパーミッション (アクセス権) を Windows の ACL (アクセス制御リスト) を使って実装している [cygwin で作ったファイルの ACL を見ようとセキュリティタブを開くと、このようなエラーが表示される。



・・・のアクセス許可の順序が正しくありません。これによりいくつかのエントリが無効になる可能性があります。

ACLにはNULL SIDから始まるエントリが並んでいる。



困るのはWindowsの一部アプリからはcygwinの作ったファイルが読み取れない場合があることだ。例えばrsyncやlftpで、稼働中のリモートサイトからDokuWikiをダウンロードして実行しようとする、ファイルにアクセスできないというエラーを食らったりする。

これについては/etc/fstab ファイルに

```
none /cygdrive cygdrive binary,posix=0,user,noacl,notexec 0 0
```

という一行を設定すれば良い。noacl と noexec を指定することによって/cygdrive 以下のファイルに対してcygwinがWindowsのACLを参照 変更しなくなる。

C:\etc フォルダに fstab ファイルを作成して、上記の一行を書いておく。

既にcygwinをインストールする場合（例えばcygwinがC:\cygwin64にインストールされた場合）cygwinの/etc/fstabを編集し、

```
mklink /j c:\etc c:\cygwin64\etc
```

としてC:\etc から C:\cygwin64\etc にシンボリックリンクを貼っておくと良い。

このようにして[rsyncやlftpや他のcygwin1.dllを使ったアプリ)がACLをイジらないように設定してから転送を行うと良い。

なおnoacl設定前にできてしまったファイルは、

```
icacls folder /reset /t
```

というコマンドでACLをリセットする。

From:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/> - らぎめも

Permanent link:

<http://ragi.mokuren.ne.jp/windows/noacl>

Last update: **2019/08/17**

